

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート標準試験方法研究小委員会		主 査 名：谷川 恭雄 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)		委員長名：田中 享二 主 査 名：榎田 佳寛
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋コンクリート構造物の品質管理や維持管理に必要な各種試験・検査方法の再構築を行い、材料製造から工事竣工までに実施される試験・検査方法、および建物の維持・管理時に実施される試験・検査方法の適用範囲・基準、手順等の詳細な調査・研究を行う。 ・ 「コンクリート強度推定のための非破壊試験方法マニュアル」(1983年発行)、「コンクリートの早期迅速試験方法集」(1985年発行)および「構造体コンクリート強度に関する研究の動向と問題点」(1987年発行)の技術的見直しを行うとともに、新技術を含めた各種試験・検査方法の統一化について調査・研究を行う。 ・ 「鉄筋コンクリート構造物の品質管理および維持管理のための試験方法・同解説(案)」の執筆および同刊行物に関する講習会を開催する。 ・ 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し		
	谷川恭雄(名城大学) 池永博威(千葉工業大学) 棚野博之((独)建築研究所) 今本啓一(足利工業大学) 込山貴仁(株コンステック) 高橋茂((社)セメント協会) 辻本一志(全国生コンクリート工業組合連合会) 永山勝((財)日本建築総合試験所) 並木哲(大成建設株) 西田朗(清水建設株) 畑中重光(三重大学) 濱崎仁((独)建築研究所) 三井健郎(株竹中工務店) 山田和夫(愛知工業大学) 湯浅昇(日本大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工時試験方法 WG ・ 維持・更新時試験方法 WG 		
2005 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 8 回 (WG 開催数を含む)(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .(2006 年度に「鉄筋コンクリート構造物の品質管理および維持管理のための試験方法・同解説(案)」を刊行予定)
講習会	1 .(2006 年度に「鉄筋コンクリート構造物の品質管理および維持管理のための試験方法・同解説(案)」に関する講習会を開催予定) 参加者数 200~250 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無し
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 筋コンクリート構造物の品質管理や維持管理に必要となる各種試験・検査方法の再構築を行い、材料製造から工事竣工までに実施される試験・検査方法、および建物の維持・管理時に実施される試験・検査方法の適用範囲・基準、手順等の詳細な調査・研究を行った。</p> <p>2. 「コンクリート強度推定のための非破壊試験方法マニュアル」(1983年発行)、「コンクリートの早期迅速試験方法集」および「構造体コンクリート強度に関する研究の動向と問題点」の技術的見直しを行うとともに、新技術を含めた各種試験・検査方法の統一化について調査・研究を行った。</p> <p>3. 「鉄筋コンクリート構造物の品質管理および維持管理のための試験方法・同解説(案)」の執筆分担を決め、本文および一部解説文の執筆を行った。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>特段に問題点はない</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。